

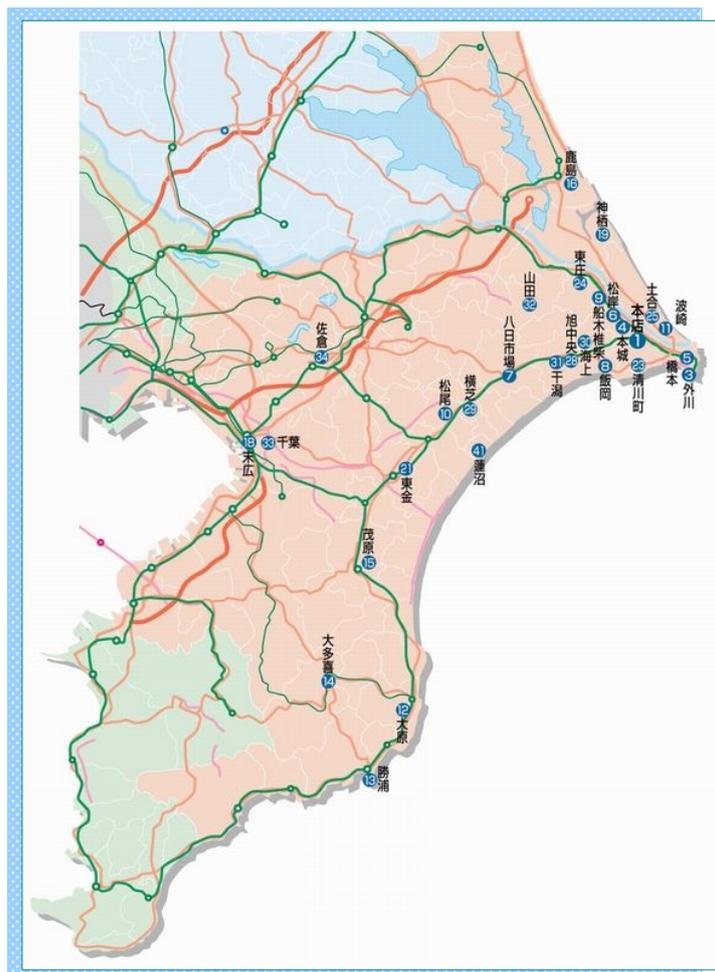
2012

11月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	29	0
今後3か月程度の見通し	0	27	2

【漁業】

銚子港の平成24年10月の総水揚げ数量は18,436トンで前年同月比▲4,220トンの減少となった。総水揚げ金額は1,946百万円で前年同月比▲1,370百万円の減少となった。鯖、鯵の水揚げは増えたがイワシ、サンマが前年同月比水揚げ数量・金額ともに減少した。また、前月比については総水揚げ数量、水揚げ金額とも大幅増加した。

【農業】

銚子地区では、キャベツ・大根の定植作業に追われ農家は繁忙となっているが、早いものは10月上旬から出荷が始まった。高原キャベツの安値が続いており、Lサイズ（10Kg）500円前後で推移している。大根も豊作の見通しで相場は安値が続く見込み。

【商業】

個人消費については、マイカー購入は一段落し、高額商品や自動車の買い控えが続いており、今後の販売が懸念される。一方、住宅関連では太陽光発電の固定価格買い取り制度が7月から始まり、関心が高まったことから、エコライフにつながる消費の増加が期待されている。

【建設業】

平成24年9月の公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）は、千葉県で32,112百万円（前年同月比+2,007百万円）、茨城県は22,495百万円（前年同月比+4,219百万円）となった。また前月（8月）と対比して千葉県は▲11,718百万円、茨城県は▲1,389百万円の減少となった。

公共機関からの受注工事は、前月比では千葉県・茨城県ともに受注が減少し、前年同月比では受注が上回ったが、前月比・前年同月比とも国の機関からの受注は下回り、地方の機関からの受注は上回る結果となった。

【観光業】

観光業は、秋のシーズンであるが、月初は天候不順が続いたが、中旬からは週末の稼働状況が好転し例年程度の集客だった。晩秋から冬の時期は閑散期であるが、11月は祝い月であることから七五三等の予約を期待しているが前年程度で好転は見られない。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の平成24年10月の総水揚数量は18,436トンで前年同月比▲4,220トンの減少となった。総水揚金額は1,946百万円で前年同月比▲1,370百万円の減少となった。鯖、鰯の水揚げは増えたがイワシ、サンマが前年同月比水揚数量・金額ともに減少した。また、前月比については総水揚数量、水揚金額とも増加した。10月はイワシの水揚げは無く、サンマは漁場に近い北海道内各港に水揚げが集中したことが影響している。

サンマの魚体は小型魚が多いが、全国の水揚げ量は前年並みとなっている。

波崎港では、稼働日数は前月より減少して9日となった。10月の総水揚数量5,818トン、総水揚金額404百万円、対前月比水揚数量は+2,113トン増加、水揚金額も+152百万円の増加となった。船団の大半が八戸沖から近海に移り、鯖・鰯が中心となった。

勝浦港では、総水揚数量は212トンで総水揚金額194百万円となった。前年同月比では、鰹の水揚げが落ち込んだことにより総水揚数量で▲235トン、総水揚金額も▲69百万円減少した。前月対比では、鯖、カジキが戻ったことから総水揚数量で183トン、総水揚金額も170百万円増加した。大原では伊勢エビ漁が解禁となったが、小ぶりで水揚げ量も少なく、浜値は1kg 3,000円台で推移している。

水産加工業では、新サンマ入荷が始まったが、水揚げが少なく魚体も小さいことから解凍サンマの需要が戻っている。チリ産銀鮭の魚価の低迷は、青物（サンマ、鯖、イワシ）の需要・価格に影響しており停滞基調が続いている。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

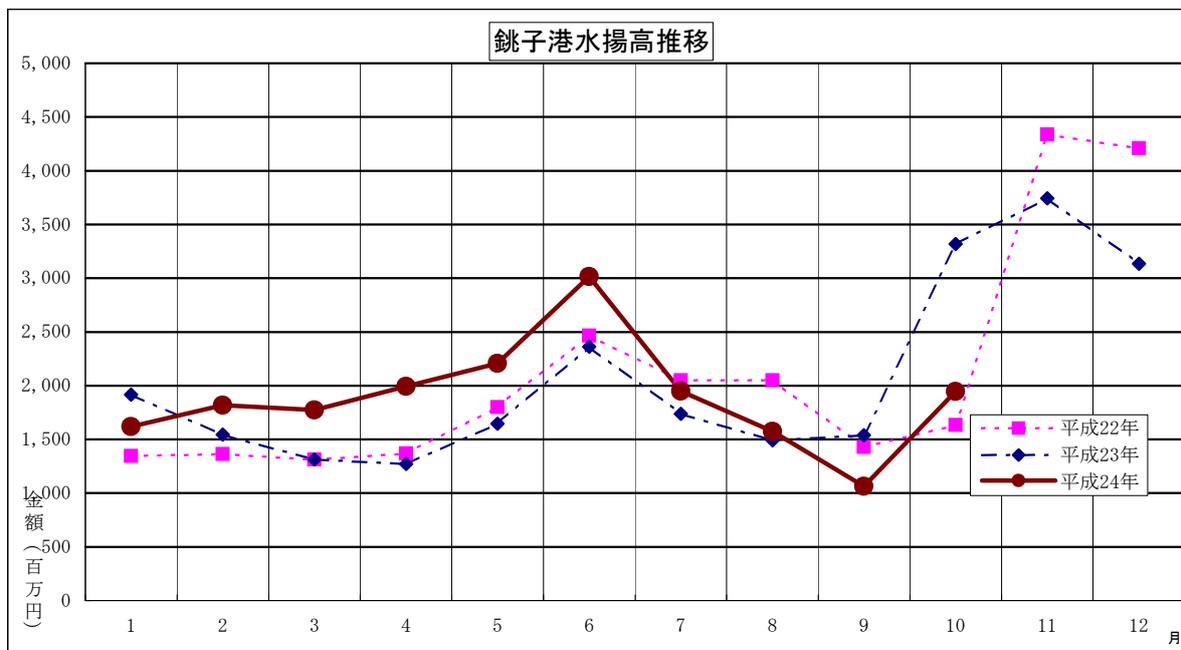
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		H24年10月	H23年10月	前年同月比	H24年10月	H23年10月	前年同月比
鰯		0	2,940	▲ 2,940	0	206,387	▲ 206,387
鯖		12,552	6,883	▲ 5,669	804,361	715,407	▲ 88,954
鰯		1,621	827	▲ 794	214,382	102,336	▲ 112,046
鰹・鮪		470	1,403	▲ 933	474,581	888,925	▲ 414,344
(内鰹一本釣)		0	0	0	0	0	0
秋刀魚		3,489	10,053	▲ 6,564	265,969	1,166,564	▲ 900,595
底曳		131	333	▲ 202	72,172	87,132	▲ 14,960
その他		173	217	▲ 44	114,862	150,479	▲ 35,617
合計		18,436	22,656	▲ 4,220	1,946,327	3,317,230	▲ 1,370,903

前月比	数量	603.33%
	金額	182.79%
前年同月比	数量	81.38%
	金額	58.67%

水揚日数

	H24年10月	H24年9月	H23年10月
鰯	0日	1日	5日
鯖	10日	6日	7日
鰯	7日	9日	7日
鰹・鮪	22日	13日	9日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	11日	10日	16日
底曳	20日	18日	23日
その他	24日	21日	25日





■ 農 業

銚子地区では、キャベツ・大根の定植作業に追われ農家は繁忙となっているが、早いものは10月上旬から出荷が始まった。高原キャベツの安値が続いており、Lサイズ（10Kg）500円前後で推移している。大根も豊作の見通しで相場は安値が続く見込み。

波崎地区のピーマンは、暑さが続いたことから病害が発生し、例年より出荷量が少なく、価格は前月、前年比安値で取引された。他地域のピーマン出荷が増え、安値推移が懸念される。

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場はキュウリが1本（等級 秀）10円～35円程度、トマトは1箱（4Kg）1,000円～2,300円程度で取引された。前月と比較してキュウリは変わらず、トマトは700円程度値上がりして取引された。

海上地区のマッシュルームは、1パック（100g）100円前後と前年同月と同水準で取引されている。

飯岡地区のパセリは（200g、25束）3,500円、春菊（150g、20束）3,000円の出荷で、前年同月比高値で推移した。

横芝光町のブランドねぎ「ひかりねぎ」が収穫時期に入るが、規格が厳しく高値の取引が期待されている。

■ 商 業

個人消費については、震災の影響により昨年は中止となったイベント等が開催されているほか、観光客等が戻ってきている地域もあることから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

マイカー購入は一段落し、高額商品や自動車の買い控えが続いており、今後の販売が懸念される。一方、住宅関連では太陽光発電の固定価格買い取り制度が7月から始まり、関心が高まったことから、エコライフにつながる消費の増加が期待されている。

小売業では、依然回復感は無く低調に推移している。消費者の節約志向が強く、大型店の進出が続いていることから、厳しい状況が続いている。

石油卸業者は、冬季シーズンを控え石油価格の低下から、在庫を積み増している。

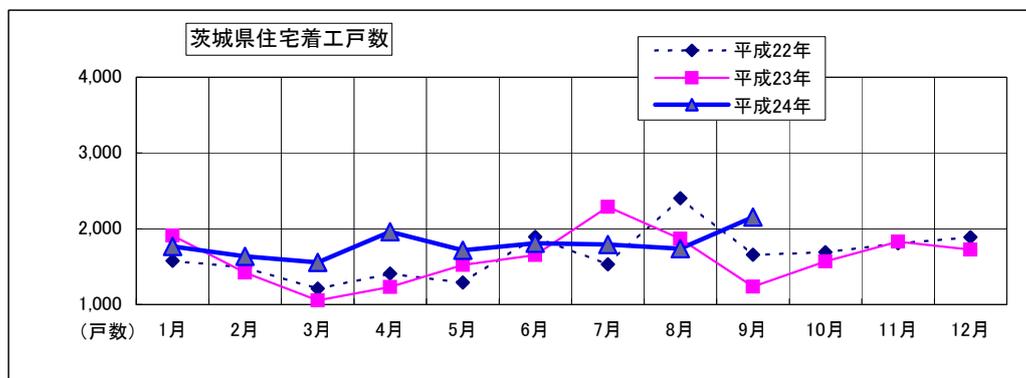
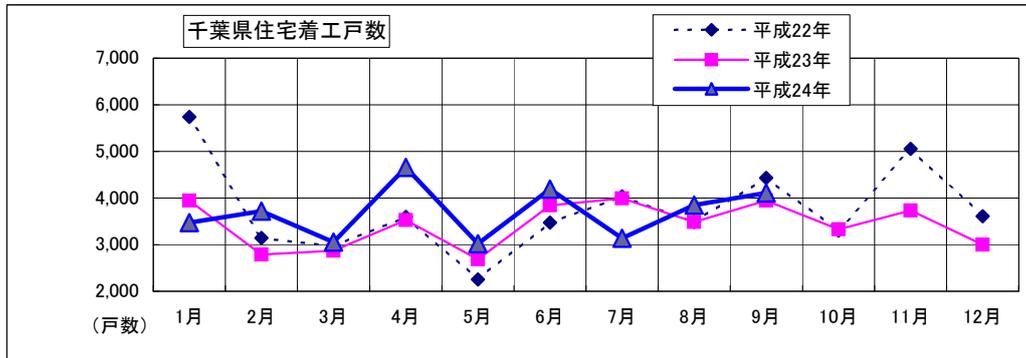
銚子地区では、「銚子市プレミアム付商品券」が発行されたが、中小商業者への経済効果は今ひとつの声もあり、商店街の期待も空回りした。

旭市や匝瑳市の国道126号沿いに大型店が相次いで開店する予定であり、既設大型店との競争の余波が、中小小売店に及ぶ事態が懸念される。

■ 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	4,113	3,846	267
茨城県	2,153	1,738	415



平成24年9月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県で32,112百万円(前年同月比+2,007百万円)、茨城県は22,495百万円(前年同月比+4,219百万円)となった。また前月(8月)と対比して千葉県は▲11,718百万円、茨城県は▲1,389百万円の減少となった。

公共機関からの受注工事は、前月比では千葉県・茨城県ともに受注が減少し、前年同月比では受注が上回ったが、前月比・前年同月比とも国の機関からの受注は下回り、地方の機関からの受注は上回る結果となった。

平成24年9月の住宅着工戸数は、千葉県では4,113戸と前年同月比+4.31%(170戸)の増加となった。茨城県については、2,153戸で+74.47%(919戸)増加した。なお、前月(8月)対比については、千葉県で267戸、茨城県では415戸の増加となった。

国土交通省統計情報より

■ 観光業

観光業は、秋のシーズンであるが、月初は天候不順が続いたが、中旬からは週末の稼働状況が好転し例年程度の集客だった。晩秋から冬の時期は閑散期であるが、11月は祝い月であることから七五三等の予約を期待しているが前年程度で好転は見られない。

遊漁船関係はヒラメの釣果が好調であり、10月からはハナダイ釣も活況となり利用客の増加が見込まれるが、天候不順による出漁回数の減少が懸念される。

銚子地区では、県内初の日本ジオパークの認定を受け、観光を主体とした地域活性化への期待が高まっている。

大多喜地区では、紅葉前の閑散期であったが前年対比増加の店舗も多く、震災の影響は薄れている。

飯岡地区では、観光業を柱とするグループ補助金の対象先が出店する「復興フェスタ」が開催され、他地域からの来客もありにぎわった。

また、11月は各地でイベントが企画され、佐倉の時代まつりや銚子のマグロまつりなどのほか、各地でマラソン大会などが開催され、集客に期待が集まる。

情報アドバイス
銚子商工会議所

■ 不動産業

千葉市では、不動産購入の希望者はあるが、駅周辺の物件に集中しており、物件が不足気味になっている。

茨城県神栖市では、土合地区で複数の分譲計画が進んでいる。合わせて、大手企業の社宅跡地で分譲が計画されており、供給過剰が懸念されている。

■ 養豚業・畜産業

平成24年10月の東京市場での鶏卵と豚枝肉の卸売価格相場は、鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均193円/kgで前月比+17円/kg値上がりした。前年同月比については+7円/kg値を上げた。豚枝肉の卸売価格相場は、399円/kgで前月比▲51円/kg値下がりした。前年同月比では+37円/kg値上がりした。養豚業においては、飼料価格が高騰しており、厳しい状況が続く。

■ 自動車ディーラー

平成24年10月の千葉県新車登録台数は10,007台で、前年同月対比89.17%（▲1,216台）の減少となり、2ヶ月連続で前年同月台数を下回った。また、前月対比では76.30%（▲3,108台）の減少となった。

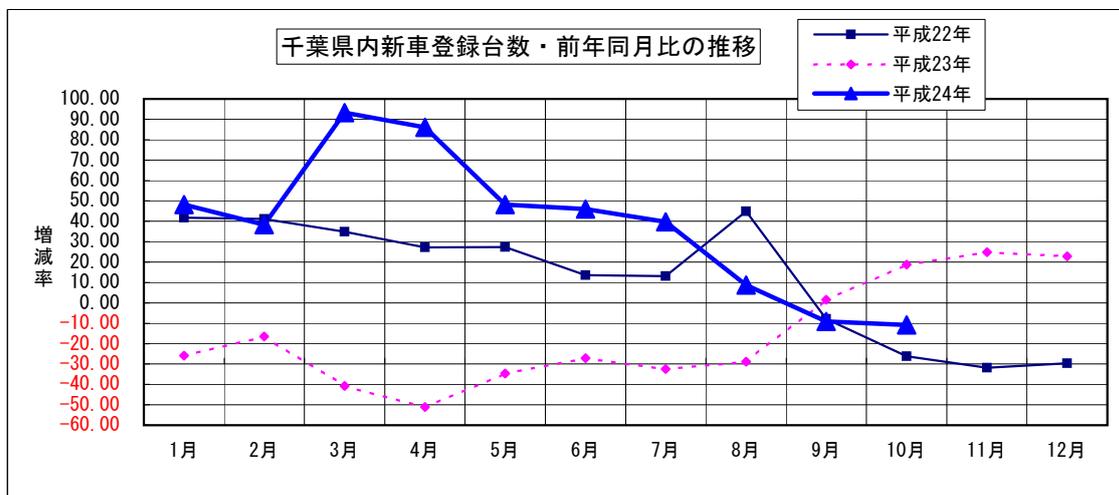
車種市場別の登録台数状況を見ると、乗用車市場全体では8,564台の登録台数で前年同月対比86.56%（▲1,330台）となった。また、貨物車市場は1,146台の登録台数で前年同月対比101.87%（+21台）となった。

占拠率はトヨタが50.9%を確保しており、次いで2位は、3ヶ月連続で日産（14.5%）となり、ホンダ（10.5%）は3位となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当 月	前 月	前 月 比	前 年 同 月	前 年 比
乗 用	普 通	3,979	5,505	72.28%	4,888	81.40%
	小 型	4,585	5,705	80.37%	5,006	91.59%
	小 計	8,564	11,210	76.40%	9,894	86.56%
貨 物	普 通	373	604	61.75%	382	97.64%
	小 型	773	936	82.59%	743	104.04%
	小 計	1,146	1,540	74.42%	1,125	101.87%
特 殊 等	特 殊	268	323	82.97%	187	143.32%
	バ ス	29	42	69.05%	17	170.59%
	小 計	297	365	81.37%	204	145.59%
総 合 計		10,007	13,115	76.30%	11,223	89.17%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス
千葉トヨタ自動車㈱

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.73	0.76	▲ 0.03	0.60	0.13
茂原公共職業安定所管内	0.46	0.39	0.07	0.52	▲ 0.06
いすみ公共職業安定所管内	0.54	0.59	▲ 0.05	0.53	0.01
成田公共職業安定所管内	0.73	0.73	0.00	0.60	0.13
佐原公共職業安定所管内	0.56	0.58	▲ 0.02	0.47	0.09
千葉県	0.66	0.65	0.01	0.55	0.11
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.84	0.85	▲ 0.01	0.74	0.10
茨城県	0.81	0.82	▲ 0.01	0.68	0.13

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力成田支社管内総電力使用量	427,228	416,348	10,880

東京電力(株)成田支社調べ

倒産

平成24年(2012年)10月の負債総額1000万円以上を有する千葉県内企業倒産件数は41件で、前月比で19件の増加となった。また、前年同月比でも16件の増加となった。

負債総額は25億7600万円で、前月比91億4700万円の減少となり前年同月比でも54億200万円の減少となった。10月は負債総額10億円以上の大型倒産は0件で、中小・零細企業の小口倒産が散発した。

千葉県内の震災関連倒産は、10月は1件発生し、累計で33件となった。震災後、厳しい外部環境から業績回復が果たせず、震災関連の倒産収束が見通せない。

企業倒産を抑制させた金融円滑化法が県内でも相応に浸透しているが、その施策効果も薄らいでおり来年3月に終了するが、大きな情勢の変化は無いとの見方も聞かれる。しかし、県内企業の業績そのものを向上させる明るい材料に乏しく、経営体力を消耗している企業も多いことから、企業倒産が増加する可能性を内在している。

倒産会社の従業員数は144名で前月より10名減少した。

産業別では「建設業」が11件を占めた。負債総額では「卸売業」が10億円と多く、次いで「建設業」が7億円となった。

原因別では、「業績不振」によるものが32件(構成比78.1%)と多く、次いで「過小資本」が4件(構成比9.8%)となった。

地域別では、県北西部での発生が多く、倒産形態では破産が34件、銀行取引停止処分が7件と続いた。

景気の先行き不透明感を背景に、個人消費の低迷と一般消費者の低額商品を求める動きから、大手企業との商品・価格競争力に乏しい中小・零細企業は喘いでいる。こうしたデフレ環境が続けば、今後も商品価格の値下げでの対抗策しか見えず、不安を感じている経営者の声が多く聞かれる。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
千葉トヨタ自動車 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
ハローワーク常陸鹿嶋
東京電力 株式会社 成田支社
(順不同)
※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発 行 ; 銚子信用金庫
編 集 ; 営業推進部
住 所 ; 〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電 話 ; 0479-25-2121
F A X ; 0479-24-4591
E-mail ; eisui@choshi-shinkin.co.jp
U R L ; http://www.choshi-shinkin.co.jp

ちょうしんさん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】 17,850円 (うち消費税850円)

【ご入会】 当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧ください。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！
みなさまのお申込みをお待ちしています。